事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 3 月 1 日　　事業所名 ドリームケアデイサービス如意谷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	職員の配置数は適切である	3	2		配置基準の人数よりは多めに配置していますが、日によっては足りていないと感じる時もあります。支援の充実化、及び利用者様の安心、安全につながるよう求人活動を継続的に行い、人材の確保
	2	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		利用児童全体、及び個別に状態、状況の把握に努め、常に適切な配慮などが行えるように努めている	
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		日々の清掃はもちろんのこと、環境の見直しを定期的に行い、状況に応じ対応している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	利用児童が来所されていない日、時間を利用してPDCAサイクルを実践している	
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		現在は外部評価制度は導入しておりません。 事業所の質の向上、利用者様に対する安心感の確保を考えると必要と感じおります。今後、導入を前向きに検討致します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		シフト等の兼ね合いで参加できない従業員のフォローが不十分でした。 動画配信等を活用した、研修システムの導入を予定しており、システムを有効活用し改善に努めま
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	10	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の提供	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		必ずは行えていないのが現状です。業務日誌等のツールを活用し、情報の共有に努めます。
	15	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		
	16	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	18	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		
	19	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1		
	20	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図り、他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		
	21	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		現在、ご利用者様達のニーズ等を確認し検討中です。
	22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時の申し送りに加え、定期的な懇談を行い共通理解に努めています。	
	23	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	ペアレントトレーニングは行えていませんが、保護者の方の相談等に適切にご対応できるように研修等を行い質の向上に努めております。	
	24	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	25	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	26	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	27	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	28	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	毎月の活動概要を利用者様に配布しております。	
	29	個人情報の取扱いに十分注意している	5			利用者様向けのアンケートにて「他人の物や活動内容ノートが入っている時がある。」とご指摘を受けており、そのような事が起こっていることも事実である為、そのようなことが起こらないよう利用者様の持ち物の管理方法等を見直し改善に努めます。
	30	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	31	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		
非常時等の対応	32	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		
	33	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	34	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		
	35	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。